

出張報告書

議員出張報告書

下関市議会議長 殿

令和6年6月17日

職氏名 【みらい下関（12名）】 木本 暢一、林 真一郎、戸澤 昭夫 田中 義一、香川 昌則、安岡 克昌 板谷 正、東城 しのぶ、村中 良多 林 昂史、山野 陽生、下村 秀樹 【無所属（2名）】 竹村 克司、宮野 直樹 【議会事務局（2名）】 中村 純一郎、飯田 洋詩	用 務 ① 沖縄美ら海水族館の管理・運営について ② 沖縄アリーナについて ③ DMMかりゆし水族館の管理・運営について
期 間 令和6年4月17日（水）から 4月19日（金）まで	出張先 沖縄県 本部町（①）、沖縄市（②）、 豊見城市（③）

1. 沖縄県 本部町

（人口 約1万3千人、面積 約54km²）

沖縄美ら海水族館を訪問した。沖縄美ら海水族館の概要について説明を受けた後、質疑応答を行った。また、水族館内及び施設バックヤードを見学した。

〔説明者〕

沖縄美ら海水族館 統括 佐藤氏 ほか



① 沖縄美ら海水族館の管理・運営について

<調査概要>

沖縄の本土復帰を記念して開催された沖縄国際海洋博覧会の水族館（政府出展施設）が国営公園の中核施設として継承された。施設の老朽化を受け、本土復帰30年の節目に政府が再整備を行い、平成14年11月に独立行政法人都市再生機構が料金等収入を元に運営する新水族館「沖縄美ら海水族館」として開館した。

平成31年2月に都市再生機構から沖縄県に管理が移管され、現在は沖縄美ら島財団が指定管理者となっている。入館料収入と営業収入のみで運営管理を行う利用料金制で運用されており、沖縄県からの指定管理料は発生していない。

令和5年度の入館者数は約300万人でコロナ禍以前の水準まで回復しており、その約4割がインバウンドとなっている。通常、水族館の入館者数は開館2年目をピークに減少に転じる傾向があるが、沖縄美ら海水族館ではインバウンドの増加もあり、それ以降も入館者数が増加している。（平成29年度は過去最多の378万人を記録）

水族館内は、沖縄の海との出会いをテーマに、沿岸の浅瀬やサンゴ礁、沖合の黒潮の海、琉球海溝などの深海につながる動線を基本として、沖縄の海の特有のサンゴ礁を再現する、黒潮の海流を直接取り込むなど、様々な展示で配置構成されている。

水族館では、沖縄の生物を飼育展示する施設として、沖縄美ら島財団総合研究センターと一元的に様々な調査研究活動が行われている。また、調査研究活動により得られた知見や自然史財を利用した科学教育や環境学習など、教育普及や環境保全、地域連携の活動においても様々な取り組みが行われている。

<沖縄美ら海水族館の沿革>

昭和50年（1975年）	7月	沖縄国際海洋博覧会の政府出展水族館
昭和51年（1976年）	8月	国営沖縄海洋博覧会記念公園水族館
平成14年（2002年）	3月	新水族館 工事竣工
〃	8月	国営沖縄記念公園水族館 閉館
〃	11月	沖縄美ら海水族館 開館
平成31年（2019年）	2月	沖縄県管理施設へ移管

<主な質疑応答>

Q 開館から20年以上が経過するが、大規模改修についての検討は。

A 沖縄県との協定の中の大規模修繕計画に基づき、収益から年間8億5,000万円程度を大規模修繕費の基金として積み立て、施設の補強工事や漏水などの不具合箇所を計画的に修繕している。

Q 新たな展示や今後の研究活動についてのお考えは。

A インバウンドからの支持や共感を得るためにも、動物福祉を強く打ち出していくことが重要と考えている。このことにより、動物たちの生き生きとした様子を見ていただくことができるなど、展示方法にも改善が加わっていくものと考えている。

Q インバウンドへの対応、広報についてはどのような取り組みをされているのか。

A ホームページやパンフレットは5か国語対応としている。広報については、以前は観光コンベンションビューローと一緒に海外プロモーションを行っていた。

現在はインターネットやSNSなど使って海外向けに情報発信したり、海外メディアの受入れを強化している。

Q 調査研究活動や教育普及のプログラムの経費についても入館料収入等から支出されているのか。または、外部から研究資金を獲得されているのか。

A 基本的な人件費等は基礎的な収入から支出されているが、研究費に関しては科研費や民間の研究助成などの外部資金を取っている場合がある。展示やインフラ整備に関しては文化庁の助成など利用して整備したりしている。

Q 教育普及活動について

A 近隣の小学校とはウミガメ館でふ化したウミガメを1年間飼育して、自然環境について学ぶ年間学習プログラムを行っている。修学旅行で訪れる方に対しても様々なプログラムを提供しており、その口コミで修学旅行での来館者がさらに増えている。

直接来館することができない方への対応として、全国の病院施設の院内学級や支援学校、東南アジアやザンビア共和国の海外の学校施設などを対象にインターネットを利用したオンライン教室を実施している。

Q 視覚障害者向け触察プログラムについて

A 館内で実施するものと、実際に支援学校などに行って実施するものの両方がある。このプログラムは大変好評であり、視覚障害がある生徒の修学旅行先として、全国の多くの支援学校の方に当館を選んでいただいている。

Q 沖縄美ら海水族館がもらたらず県北部地域への経済効果として、具体的にはどのような効果があったのか。

A 平成14年に新しい水族館が開館するまでの北部地域への観光客数が60万人であったのに対して、現在の観光客数は300万人以上に増加している。北部地域への観光客はレンタカーでの移動が多いことから、ホテルでの宿泊や道中の飲食店などでの観光消費により、多くの経済効果が生まれている。

平成25年度時点の北部地域への経済波及効果は約650億円と試算されているが、その後にインバウンドがさらに増加していることもあり、現在の数値はそれ以上に増加しているように思う。

<バックヤード見学の様子>



2. 沖縄県 沖縄市

(人口 約14万3千人、面積 約49km²)

沖縄アリーナを訪問した。説明者の案内の下、アリーナ内を見学しながら、適宜、質疑応答を行った。

〔説明者〕

沖縄市企画部

プロジェクト推進担当 平良氏 ほか



② 沖縄アリーナについて

<調査概要>

令和3年(2021年)3月28日に供用開始。最大収容人数1万人を誇る沖縄県内最大の多目的アリーナ。沖縄県中部に位置する沖縄市のコザ運動公園内にあり、那覇空港からは車で約50分程度。

未来を創り、地域を活性化するアリーナをコンセプトに、プロスポーツ観戦やコンサートなどのエンターテインメントを観ることに主眼が置かれおり、主催者と観客が一体となり相乗効果を生み出す施設を目指して、多種多様なイベントが開催されている。

また、国内プロバスケットボールリーグに所属する琉球ゴールデンキングスのホームタウンとなっており、令和5年(2023年)8月にはFIBAバスケットボールワールドカップの予選ラウンドが開催され、世界各国からの多くの来場者で賑わった。

メインアリーナにはフロアを一周するリボンビジョンやメガビジョンなどを備えられているほか、60台の4Dカメラで撮影した映像を360度の視点からリプレイできる映像技術が国内で初めて常設されており、イベント時にはメガビジョンに投影することが可能となっている。

総事業費は約162億円。主な財源として、防衛省所管の再編推進事業補助金や内閣府所管の沖縄振興特定事業推進費補助金などが活用されている。

沖縄市が所管する施設で、現在は沖縄アリーナ株式会社が指定管理者として、施設の管理運営を行っている。なお、沖縄アリーナ株式会社は、琉球ゴールデンキングスを運営する沖縄バスケットボール株式会社のグループ会社である。

<沖縄アリーナの沿革>

平成27年(2015年)	3月	基本構想策定
平成28年(2016年)	6月	全体計画策定
平成30年(2018年)	3月	実施設計策定
〃	8月	工事着手
令和 3年(2021年)	2月	工事竣工(同年3月 供用開始)

<建物概要>

- ・ 名 称：沖縄アリーナ（供用開始日：令和3年3月28日）
- ・ 構 造：鉄骨造、6階建（高さ28.8m）
- ・ 面 積：建築面積 約11,041㎡ 延床面積 約27,711㎡

<施設概要>

メインアリーナ

- ・ 延床面積 2,600㎡
- ・ メガビジョンの規格 510インチ
（縦6×横11メートル）
- ・ 観客席数について
スポーツ、コンサート等を開催する場合
：約8,500席



【メインアリーナ】

格闘技等を開催する場合：約10,000席

※センターステージ脇に約1,500席を追加設置できる

- ・ メインアリーナが八角形のすり鉢状に設計されているため、最上階の観客席からもイベントフロアが近くに感じられる。そのため、上階部分の観客席の階段は傾斜があるように感じるが、人が降りる場合に恐怖感を覚えない角度に工夫されている。
- ・ ステージ部分はコンクリートの土間で、開催されるイベントに合わせて会場設営する。会場設営のため、トラック等が乗入可能な搬入出口が2ヶ所配置されている。
- ・ 設計時の監修を沖縄バスケットボール株式会社に委託した。

スイートルーム・ラウンジ

- ・ 3階部分にスイートルームが設置されている。（全30室）
イベントフロア側はスイートルーム専用の観客席となっている。
- ・ 施設内に仕様の異なる各種ラウンジが設置されている。（全4ヵ所）
会議やパーティー、セミナーなど、様々な用途・目的に応じた使い分けが可能。
- ・ 利用料金について（10時～22時の12時間の基本利用時間）

メインアリーナ 平日：90万円 土日祝日：180万円

スイートルーム（全室） 平日：6万円 土日祝日：12万円



【スイートルーム】



【スイートラウンジ】



【シアターラウンジ】

飲食サービス

- ・アリーナが運営するセントラルキッチンがあり、イベント時に飲食販売を行う。
- ・イベント主催者がアリーナ周辺にキッチンカーなどを手配して、販売を行う場合もある。
- ・会計は完全キャッシュレス対応
- ・スイートルームからの注文サービスも可能



【フードコンコース】

その他の設備など

- ・2階部分のファミリーコンコースには、壁面に投影した映像でゲームを楽しむことができるキッズスペースがあり、授乳室やオムツ替えスペースも併設されている。
- ・特に女性トイレが多く設置されている。（150個室）また、トイレの手洗場所とは別にパウダールームが併設されている。
- ・館内のモニターでトイレの混雑状況がリアルタイムに確認ができ、トイレの混雑緩和が図られている。（スマートフォンからも確認可能）
- ・アリーナ併設の駐車場は230台分で、大型イベントが開催される場合はコザ運動公園内の駐車場が利用されている。コザ運動公園内の駐車場は、既存の約1,200台分に加え、令和6年4月に立体駐車場と平面駐車場1,400台分が新設された。

＜その他事項＞

- ・イベントフロアは、二十歳の集い、老人連合会の行事などでも利用されている。
- ・コザ運動公園内サッカー場跡地において、沖縄県内初のPark-PFI事業が導入され、令和5年8月のFIBAバスケットボールワールドカップの開催に合わせて、新たな宿泊施設やコンビニエンスストア、駐車場などが整備された。

＜施設見学の様子＞



【ジビュレータビ】



【ジビュロイトス】



【ムーバイトス】

3. 沖縄県 豊見城市

(人口 約6万5千人、面積 約19km²)

DMMかりゆし水族館を訪問した。水族館内を見学した後、担当者と質疑応答を行った。



③ DMMかりゆし水族館の管理・運営について

<調査概要>

令和2年(2020年)5月に開業した、株式会社DMM RESORTSが運営する民間の水族館施設。沖縄県南部に位置する豊見城市のショッピングセンター内にあり、那覇空港から車で約20分程度。

最新の映像表現と空間演出を駆使した新しいカタチのエンターテインメント水族館として、2階部分は「亜熱帯気候が織りなす常緑の森」、1階部分は「多彩な生物が息づく澄み切った海」をテーマに、様々な海洋生物や動植物が展示されている。

<主な質疑応答>

Q 水族館施設の開業に至った経緯は。

A 水族館が国内の集客施設の上位を占めていることや、九州圏で行ったアンケート調査で上位に挙げた項目(動物たちとのふれあい、インスタ映え、クラゲなど)を盛り込む形で、新たな事業が展開できないかと考えた。



Q 館内展示に係る工夫について

A 水槽展示などの岩は、FRP(繊維強化プラスチック)製の擬岩を使用している。また、草木については、奥側にはフェイクグリーンを使用することで維持管理に係る経費を抑えている。施設内に流れる鳥の声などの音響は、沖縄北部のやんばる地域の森で録音したものを使用している。

照明については、海をテーマとした1階の展示に移動する際に、深海に潜っていくようなイメージが湧くよう、1階部分を2階部分より暗めに設定している。

Q 動物展示に係る工夫について

A 動物たちへの負担やストレスを軽減するため、ふれあい展示はバックヤードの動物との入れ替え制で対応している。動物の匂いが気になるとの声もあったため、現在はオゾン消臭機器や動物たちに無害な消臭剤を使用して、常時消臭を行っている。

Q サンゴ育成事業について

A サンゴの展示、飼育と併せて、サンゴの養殖・移植活動にも取り組んでいる。

また、来館者に対しては、サンゴの生態や魅力、海洋環境の現状についての講習やサンゴの株分けなどを体験できるイベントも実施している。

Q 来館者の特徴は。

A 那覇空港からのアクセスが良いことから、沖縄への旅行日の初日または最終日に来館される方が多いように感じている。

Q 来館者のうちインバウンドの割合は。

A 約3割となっている。美ら海水族館が約4割と聞いており、当館へのインバウンドについても増加する見込みがあるため、もう少し頑張っていきたい。

Q 県民割などの入館料割引キャンペーンについて

A 過去に実施した際には、入館者が2カ月でピークとなった後、横ばい、減少に転じたことから、県民割は一旦終了とした。今後は、多くの集客が見込める夏休みや帰省時期を除くシーズンオフの期間での実施を検討している。